

【事前に配信した資料をもとに各自提出した課題の解答を共有して、クラスで探究を深める反転授業】

活用場面

一斉学習  
教師による教材の提示

個別学習  
思考を深める学習  
表現・制作  
家庭学習

協働学習  
発表や話し合い  
協働での意見整理

プランテーション農業の開始によって人々の生活がどう変化したかについて、クラスメイトの考えをまとめたもの

**考察(課題)**  
**プランテーション農業**が取り入れられることによって、この地域の人々の暮らしに、**どのような変化**があったと思いますか？  
**経済的には**どんな変化があったでしょうか？  
**食生活や文化の面**でどんな影響があったのでしょうか？  
 思いついたことを、**ロイロノートのカード**で提出してください。

ロイロノートで配信した生徒への課題

活用した機器等

Chromebook  
プロジェクター  
電子黒板

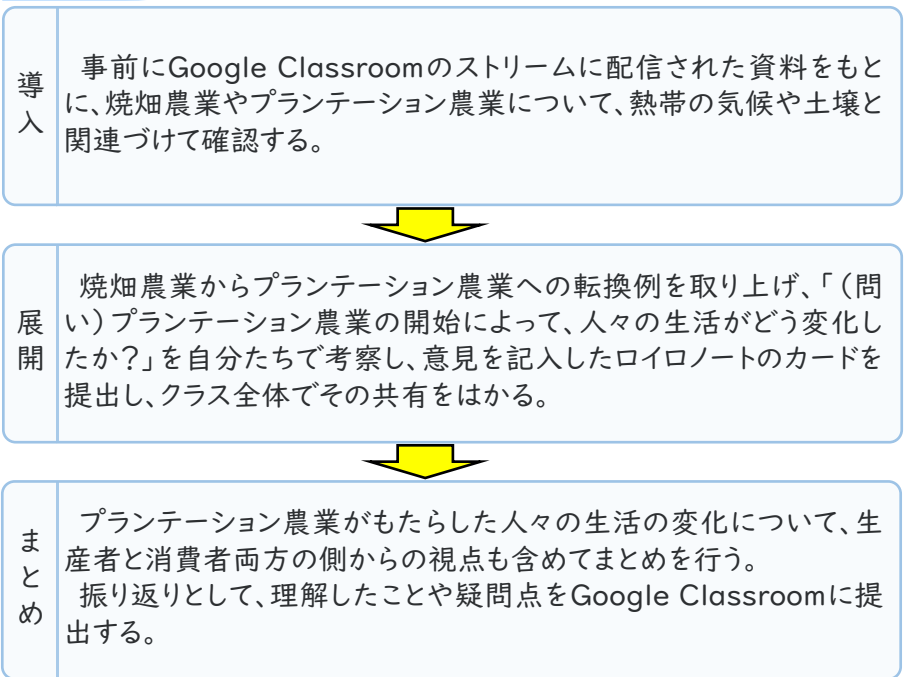
活用したアプリ等

Google Classroom  
ロイロノート

学習のねらい

気候や産業と人々の生活との関係を、他の教科の知識や日常生活で得た感覚を交えて判断し、まとめる。授業の中では、他の生徒の意見や発表もヒントにしながら、さらに考察を深めて、本質的な理解をめざす。

学習の流れ



ココでICTを活用!

事前に教員がGoogle Classroomのストリームに資料を配信しておくことで、生徒の予習を可能(何度でも繰り返し学習可能)にした。  
 また、課題に対する各自の解答をロイロノートの機能を活用してクラス全員で共有できるようにした。  
 情報の共有を通じて他の人の意見を参考にする事で、生徒の考察に深みが生まれた。  
 教員は、生徒の理解状況や考察の変化、その時間内の振り返りなどをリアルタイムで把握することができた。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

Chromebookを開きながら学習を進めることが、生徒にとって自然なものになりつつあり、従来は、板書・空欄記入・解説・暗記といった流れで進められることの多かった一斉授業の形式そのものが、ICTの活用によって変わっていく転機になるかもしれないと感じる。

例えば課題の提出や振り返りをオンライン上で行うことは、教員生徒双方で記録を電子的に残しておけたり、考えるための時間を確保できたりするという点で、従来の紙での指導に比べてメリットが大きいと考えられる。

今後は、ICTを活用した方が効果的な場面と、じっくり紙に書き込みながら理解を深めさせたいような場面とを、峻別していくことが必要になってくると考えられる。